



令和5年2月17日

林野火災を想定した大規模な消防訓練の実施について 【ヘリコプターや特殊車両を活用した人員及び資器材の先行投入を実施】

山火事が発生しやすくなる時期を前に、日の出町内の採石場跡地において「ハイカーによる火の不始末により火災が発生し、山林部分に延焼拡大した。」との想定で、近隣の消防部隊、消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー）及び都内各方面の消防署から招集された方面応援隊による林野火災発生時における消防活動訓練を実施します。また、本訓練では、ヘリコプター（当庁及び陸上自衛隊）による空中消火や特殊車両を活用した人員、資器材の投入など、大規模な訓練を実施します。

記

1 実施日時

令和5年2月26日（日） 9時30分から11時30分まで

2 実施場所

日の出町大久野2650番地

太平洋セメント（株）西多摩事業所内（別図1「案内図」参照）

3 統裁者等

(1) 統裁者

第九消防方面本部長 緒方 毅（おがた たけし）

(2) 指揮者

秋川消防署長 宮澤 裕（みやざわ ひろし）

4 参加人員等

(1) 参加人員 約300名

（内訳：消防職員 約250名、消防団員 約50名）

(2) 参加部隊等 84隊（ヘリコプター3機含む）

内訳：東京消防庁

指揮隊車、ポンプ隊、特別救助隊、ヘリコプター、消防救助機動部隊、特殊車隊
74隊

消防団

ポンプ車隊等 9隊

陸上自衛隊

ヘリ（UH1） 1機

5 参加関係機関

- (1) あきる野市・日の出町・檜原村消防団
- (2) 秋川流域林野火災等防止対策連絡会
- (3) 秋川消防署山林災害支援アドバイザー

6 訓練の想定

ハイカーによる火の不始末により火災が発生し、山林に延焼拡大した。

この災害に伴い、東京消防庁警防本部は、部隊の増強及び長時間活動の後方支援が必要であると判断し、方面応援隊の出場準備を予告指令し、秋川消防署長からの応援要請を受け、方面応援隊及び後方支援隊の出場を決定した。

7 訓練の重点項目（別図2「訓練全体図」、別図3「訓練詳細図」参照）

- (1) ヘリコプターを活用した人員、資器材投入
- (2) 遠距離大量送水装備の活用
- (3) 指揮本部運営
- (4) 山間地における消火活動
- (5) 方面応援隊運用
- (6) 消防団との連携
- (7) 自衛隊ヘリコプターと消防ヘリコプターによる空中消火

8 主な訓練進行概要

実施時間	進行内容
9:30	訓練開始・火災発生・出場指令
9:35	消防ヘリコプター到着（情報収集）
9:37	第二出場要請（秋川大隊長）
9:40	消防ヘリコプターによる空中消火（1回目）
9:45	方面応援隊応援要請（秋川署隊長）・消防ヘリコプターによる人員先行投入
9:55	ドローンによる情報収集（1回目）
10:00	特殊車両による人員・資器材の投入
10:15	自衛隊ヘリコプターによる空中消火（1回目）
10:25	消防ヘリコプターによる空中消火（2回目）
10:30	ドローンによる情報収集（2回目）
10:55	自衛隊ヘリコプターによる空中消火（2回目）
11:00	訓練終了
11:15	講評開始
11:30	講評終了

9 取材にあたっての注意事項

- (1) 別図1に示す「駐車場」に9時までに集合してください。
- (2) 自社の車両を誘導し、メイン会場に到着後、事前レクチャーを行います。
- (3) 取材の際は、自社腕章を必ず着用してください。

- (4) 現場は消防隊、消防車両等が頻繁に往来するほか、ヘリコプター飛来に伴う小石等が飛散する危険がありますのでヘルメットを持参・着用するとともに、係員の指示に従ってください。
- (5) 訓練会場内では、係員の指示に従い事故防止に十分注意してください。
- (6) 取材を希望される社は、2月22日(水) 12時00分までに広報課報道係宛へ電話でご連絡ください。(電話03-3212-2111)

10 その他

降雪等悪天候などにより訓練を中止する場合は、当日午前6時30分に決定します。

問合せ先

〔 東京消防庁(代) 電話 3212-2111 〕
〔 広報課報道係 内線 2345~2350 〕

案内図

【会場周辺地図】



【会場詳細地図】



※ 信号(岩井橋)を左折し、橋を通過したら左手に集合場所の駐車場があります。
その後、係員がメイン会場に案内いたします。

別図 2



- 九本部機動部隊ホース延長ライン
- 第一出場隊ホース延長ライン
- 第二出場隊ホース延長ライン
- 方面応援隊ホース延長ライン
- 消防団ホース延長ライン

